

令和5年7月10日（月）職業研究会 を実施しました

「進路・職業について考える」ことを目的としたこの研修会には、7つの分野から本校卒業生の講師の方々が来校されました。講師の先生方と、講義後の生徒の感想を紹介します。

（1）教育 市川 真亜久 先生（富山市立大沢野小学校）

市川先生は小学校6年生の頃から教員を目指しておられたそうです。授業だけではなく子どもや保護者との関わりの中で大変なことがあるけれど、子どもの成長を間近で見ることができ、やりがいのある仕事だということが分かりました。また、子どもたちが自分で正解にたどり着けるように手助けをするのが大切だと分かりました。これから教員免許が取れる大学を探していきたいと思います。

（13H Sさん）



（2）公務員 谷井 辰弥 先生（富山県厚生部医務課）

公務員といえば教員というイメージが強かったのですが、様々な職種で活躍していることを知り、地域のために働く素晴らしい職業であると感じました。講演を聞いて、集団の中で自分の意見をきちんと発表できる人、斬新な発想ができる人になりたいと思いました。高校生の今のうちに自分のやりたいことを見つけ、その目標に向かって積極的に物事に取り組みたいと思いました。（12H Tさん）



（3）医療Ⅰ 米澤 円華 先生（済生会高岡病院）

言語聴覚士は全国に3万6千人、富山県内には約160人と人数が少なく、その中でも20～30代が約7割、女性が3分の2を占めていることに驚きました。ライフスタイルに合わせて働けること、専門性が高くたくさんの人から頼られる職業であること、今後の進路の選択肢の一つになったと感じました。高校生の間に様々なことに興味関心をもち、ボランティアなどを行って、コミュニケーションを取ることに慣れていきたいと思います。（13H Hさん）



(4) 医療Ⅱ 齋藤 利帆 先生 (富山県立中央病院)

齋藤先生は数学が苦手だったけど、看護や医療の道に進むために理系を選択して頑張ったと伺いました。苦手かどうかではなく将来の夢を見据えて文理選択をしたいと改めて思いました。看護学校では講義だけではなく臨地実習があり、実際に病院に行って患者と関わり理解を深められるのが良いと思いました。高校でも看護見学などに参加して、視野を広げていきたいです。(13H Sさん)



(5) サービス 京谷 美結 先生 (日本海ガス株式会社)

営業だけではなく、SNS運用やアプリ作成、地域のイベント企画など、様々な仕事をしておられることが印象に残りました。スケジュール管理・リスト化をすることで物事が整理できると伺ったので、参考にしたいです。何事も一つ一つ全力で取り組むことで将来役に立つ可能性があることを知り、これから文武両方頑張ろうと思いました。また、偏見にとらわれずやってみることで楽しさが見いだせると伺ったので、様々なことに挑戦してみたいと思います。(13H Mさん)



(6) 情報 伊藤 秀則 先生 (富士通株式会社)

IT技術の進歩は早いので、常に勉強をし続けることが必要であると分かりました。また、ITを使うのは人であり、多くの意見を聞くためにコミュニケーションをとって理解し合うことが大切であると分かりました。海外でも使われる情報システムであるから英語力を上げておくことが必要だと伺ったので、私も英語にたくさん触れて勉強し将来は海外の人と仕事をしてみたいと思いました。(14H Kさん)



(7) 法務 成瀬 耕一 先生 (成瀬司法書士事務所)

司法書士の仕事には不動産登記などがあり、責任重大な仕事が多いと感じました。司法書士になるためには、独立志向があること、多くの文章をきちんと読めることが必要であると伺いました。これらの能力は身につけておいて損をすることはないと思うので、今から様々な本を読んで知識を深めておこうと思いました。また、論理的思考力やボランティア精神も必要なので、高校生の間にボランティア活動に積極的に取り組もうと思いました。(14H Aさん)

